

先端半導体製造技術コンソーシアムの概要

- 産業技術総合研究所が、先端半導体製造のためのパイロットラインの円滑な運営と開発された技術の普及を目的として、「**先端半導体製造技術コンソーシアム**」を設立
- 第一種会員（ライン構築・利用）、第二種会員（ライン利用）、賛助会員（助言）を募りパイロットラインをご活用いただく

先端半導体製造技術コンソーシアム

第一種・第二種会員

ラインの構築・利用を行う企業・大学等
(東京エレクトロン(株)、(株)SCREENセミコンダクターソリューションズ、キヤノン(株)、ほか)
※第二種会員は、ラインが利用可能になるスケジュールが明らかになった時点で募集を行う

賛助会員

知見提供や情報交換を行う企業等
(インテル(株)、台湾セミコンダクター・マニュファクチャリング、タワーパートナーズセミコンダクター(株)、
ユナイテッド・セミコンダクター・ジャパン(株)、IBM)

構築、利用、助言 ↓ ↑ 試作サービス

産総研に整備する共用パイロットライン



ナノシート型トランジスタを作製可能なプラットフォーム整備（新規装置約20台）

既存の65nm CMOSラインの装置群も活用

NEDOプロジェクト「ポスト 5 G情報通信システム基盤強化研究開発事業/先端半導体製造技術の開発」
**先端3次元構造ロジック半導体デバイスの製造・プロセス技術の開発と
検証用パイロットライン整備（2021/3/23採択発表）**

- 2nmノード以降のナノシート型トランジスタに求められる前工程プロセス技術の開発
- 共用パイロットラインを産総研SCRに構築
- 最先端装置を活用して28nm世代以降の高信頼・Middleレンジ半導体デバイス試作にも対応可能